

2017年11月17日

ハイウェイテクノフェア 2017に出展します

青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：上野康信）は、「高速道路を支える最先端技術」をテーマに開催される「ハイウェイテクノフェア 2017」に出展します。

「ハイウェイテクノフェア 2017」は、高速道路の建設・管理技術の普及や活用を推進するとともに、高速道路事業について広く社会の理解を得ることを目的としています。

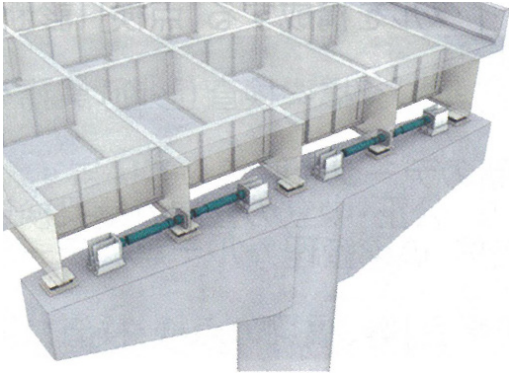
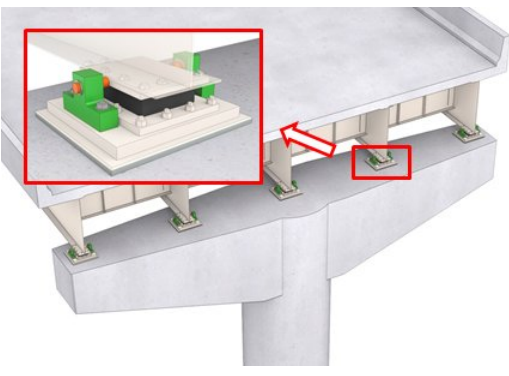

なお、当社の出展・発表内容は以下のとおりです。

- 出展内容 : ①摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法
- ②摩擦サイドブロックを用いた橋梁耐震工法
- ③オーリス（非破壊調査システム）
- ※出展する工法の詳細は次ページに記載のとおりです。

< ハイウェイテクノフェア 2017 概要 >

- 開催日時 : 2017年11月21日（火）～22日（水）
- 開催会場 : 東京国際展示場（東京ビッグサイト）東7・8ホール
- 主催 : 公共財団法人 高速道路調査会
- 公式HP : <http://htf.express-highway.or.jp/htf2017/info/>

※工法詳細

①摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法	出展内容
	<p>当社独自の「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を用いて、既設橋梁の耐震性を向上させる技術です。近年、地震直後における公共インフラの機能維持が課題となっています。当社は、既設橋梁の支承部に「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー」を設置することで耐震性能を向上させ、地震直後も交通機能を維持できる耐震補強工法を、首都高速道路㈱と共同開発しました。</p>
②摩擦サイドブロックを用いた橋梁耐震工法	出展内容
	<p>サイドブロックの各個撃破を回避できる耐震性能に優れた新しい技術です。近年の地震被災調査では、サイドブロックの各個撃破に起因する取付けボルト破断や、サイドブロック本体の脱落などの被害が報告されています。当社は、独自技術であるダイス・ロッド式の摩擦機構を応用することで、サイドブロックの各個撃破を回避できる「ダイス・ロッド式摩擦サイドブロック」を、首都高速道路㈱と共同開発しました。</p>
③オーリス（非破壊調査システム）	出展内容
	<p>構造物の形状寸法や内部に生じた亀裂を簡便に検知できる非破壊調査システムです。可搬性に優れた調査機器を用いて、コンクリート構造物や基礎杭などに発生したひび割れの有無、岩盤や転石の亀裂や根入れの調査が行えます。構造物の維持管理のための点検・診断技術として調査実績が増えています。</p>

以上